



神内小だより

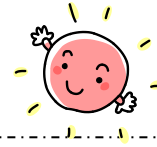
笠岡市立神内小学校 学校だより

令和3年2月15日 No.14

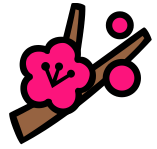
【学校教育目標】

あたたかい心と確かな力を育てる

- 進んで学ぶ子
- 思いやりのある子
- 元気な子



梅の便りが届く季節となりました。昔から、「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われているように、3学期は月日の流れが早く感じられます。3学期も折り返し地点を迎え、6年生は、小学校生活のまとめの活動に励んでいます。その他の学年も、やる気をもって学習や活動に取り組んでいます。子どもたちのがんばりを応援したいと思います。

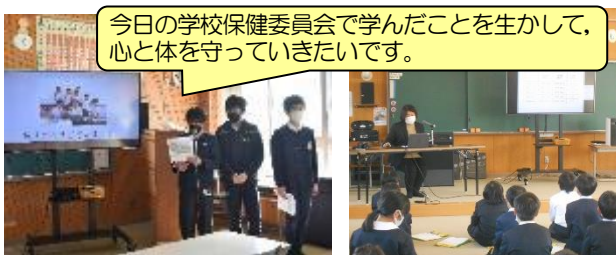


スマホ・ネットとのつき合い方について学びました！～学校保健委員会～

2月8日（月）、学校医である笠岡第一病院の宮島裕子先生をお招きして、学校保健委員会を開催しました。この会は、学校・家庭・地域が連携して子どもたちの心と体の健康について考えていくということを目的として設置されたもので、例年はPTA役員の方や地域の方にも参加していただくのですが、今年は感染症対策のために規模を縮小し、5・6年生の児童を対象に実施しました。

今年度のテーマは、「心と体の健康を守る スマホ ネットとのつきあい方」でした。まず、保健委員会の児童や養護教諭が学校の取組の発表を行い、それに対して宮島先生から指導・助言をいただくという形で進めました。宮島先生からは、保健委員会の児童が、毎週実施している「げんきタイム」の結果から自分たちで問題点を見つけてアンケートをとり、神内小学校でのスマホ・ネット利用の実態把握をして問題提起をしているところがすばらしいと褒めていただきました。

その後の先生からのご指導の中には、今回参加していない1～4年生にも伝えたい内容がたくさんありましたので、各学級でも話題にしたいと思っています。また、保護者の皆様にも、後日発行の「保健だより」でお知らせする予定です。



「笠エテクノ工房」のみなさんにお世話になりました！

「笠エテクノ工房」とは、笠岡工業高等学校の生徒が、こども園や小学校などのニーズを把握し、それに応えてもの作りや補修活動を行うことで、地域に貢献するという取組です。

神内小学校でも、昨年度は、玄関前のプランター置きを作っていただき、今年度は、以前うさぎ小屋として使っていたものを、使い勝手のよい物置にリフォームしていただきました。

生徒のみなさんは、現地視察をして活動計画を立て、設計から試作、設置まで、試行錯誤を繰り返しながら、神内小のニーズに応えるために熱心に取り組んでくださいました。そして、仕上げには、小学生に向けたメッセージを壁面に残してくださいました。その気持ちとともに、生まれ変わった物置を大切にしたいと思います。

